

第29回環境ホルモン学会講演会

JSEDR

ここまでわかった環境ホルモンの胎児期曝露による影響

—POPs (PCB・ダイオキシン類・有機フッ素系物質等) とフタル酸エステルやビスフェノールAなど—

日時: 2015年6月19日(金) 13:35~17:00

場所: 東京大学 山上会館 2F大会議室



司会

千葉大学大学院医学研究院教授,
千葉大学予防医学センター長 森 千里
北海道大学環境健康科学研究教育センター
特別招聘教授 岸 玲子

12:45~ 受付
13:00-13:30 総会
13:35-13:40 開会の辞
13:40-14:20 Effects of phthalates: Experience of Taiwan Maternal and Infant Cohort Study (TMICS)
Division of Environmental Health and Occupational Medicine,
National Health Research Institutes, Taiwan, Investigator
Shu-Li (Julie) Wang (王淑麗)

英語

14:20-15:00 **ダイオキシン・有機フッ素化合物などの子どもへの影響:**
環境と子どもの健康に関する北海道スタディ (The Hokkaido Study on Environment and Children's Health)
北海道大学環境健康科学研究教育センター 特任講師
宮下ちひろ

15:15-15:55 **PCB・水銀などPOPsの子どもへの影響:**
東北コホート (The Tohoku Study of Child Development) の経験
東北大学大学院医学系研究科
共通施設 環境遺伝医学総合研究センター 発達環境医学分野 教授
仲井邦彦

15:55-16:25 **内分泌かく乱化学物質の人への影響 (世界の研究: 概要)**
北海道大学 環境健康科学研究教育センター 特別招聘教授,
Head, WHO Collaborating Centre for Environmental Health and Prevention of
Chemical Hazards
岸玲子

16:25-16:55 全体討論 (質疑応答)

16:55-17:00 閉会の辞

参加費

会員 3,000円 会員学生 2,500円
非会員 5,000円 非会員学生 3,000円

コーディネーター

北海道大学環境健康科学研究教育センター 岸玲子

お申し込み
お問い合わせ

申込用紙をホームページよりダウンロードし、FaxまたはE-mailでお送りください
環境ホルモン学会事務局 Fax: 04-7137-8180 / E-mail: jseidr@mb.infoweb.ne.jp
ホームページ: <http://www.jseidr.jp/>

